

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表： 令和2年3月14日

事業所名 向島あづみ園

保護者等数(児童数) 54世帯

割合 93% 回収

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	92%	4%	4%	0%	・教室によっては広くない所もある ・園庭やプレイルームがあり良い。 ・教室が広く、しっかりと活動が出来ている。	・用途によって、指導室やプレイルームの使用を設けていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	88%	6%	0%	6%	・心理・言語の専門職が居て適切。 ・伝達ミスや忘れ物があり、職員不足なのか？と思うことがあった。 ・サブの先生も居て適切だと思う。	職員数は適切であるので、保護者に不安をかけないように、職員間が連携をしていく
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	92%	4%	0%	4%	・子どもにもわかりやすい構造だと思う。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	90%	10%	0%	0%	・個別に分かれており、適切である。 ・教室も広く、いつも清潔な環境だと思う。	今後も朝夕の清掃を継続して行っていく。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%	0%	0%	0%	・個別に、その子に合った計画である。 ・保護者の意見を聞き取る時間も多く取っていただき、希望通りの計画になっています。	今後も継続して取り組んでいく。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	82%	6%	0%	12%	・行われています。	支援計画は園児の支援内容は園児の支援を主に作成している。「家族支援」については支援計画に盛り込まれていないが、職員間では連携している。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	96%	2%	0%	2%	・個別指導でまだ、計画でやっていないのに、到達度を求められて困った。 ・行われている。	・支援計画を確認し、支援を行っていくように取り組んでいる。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	82%	4%	0%	14%	・行われている。	・活動のねらい等、朝礼で職員間で周知している。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	59%	14%	6%	20%	・毎日利用児だと、なかなか難しい。 ・もう少し、交流する機会を増やしてもいいと思う。 ・併行通園が出来、たくさんの友達を作る機会があると思う。	・地域のこども園などに訪問し、運動会・発表会など見学をさせてもらったが、交流はできていない。連携を取りながら、計画的に進めていきたい。
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	90%	6%	2%	2%	・説明を受けました。	・丁寧に知らせていくようにする。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	94%	0%	2%	4%	・説明を受けました。 ・ガイドラインのねらいを知りません。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	88%	6%	0%	6%	・家族も参加出来て良い。 ・ペアトレ教室に行っていてよかったと思う。継続してほしい。 ・とても勉強になっている。	・今後も継続して行っていく予定です。 ・参加がしやすい時間帯や曜日に配慮して計画を立てていくようにする。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	90%	10%	0%	0%	・連絡帳やお迎えの時によく教えてくれます。 ・連絡帳や個別に相談できる。	・送迎時などをうまく活用していく。
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	98%	2%	0%	0%	・セミナーがいろいろあって良い。 ・勉強会など定期的にある。 ・話しやすい。 ・モニタリングや個人懇談にて助言等頂けるので良い。 ・カンファレンスもあり、良い。 ・心理指導の時間あり、助言をもらえる。	年に2回のモニタリングを実施している。

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	67%	14%	4%	14%	・保護者向けセミナーなど、保護者同士のコミュニケーションの場があります。 ・季節の行事が楽しい。	・保護者会に代わる行事を設定し、保護者同士の連携が取れるようにしていく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	90%	8%	0%	2%	・連絡帳などで意見を伝え、対応してもらっている。	担当者が対応し、返答等難しい場合は園長が対応するようにしている。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94%	4%	0%	2%	・連絡帳などで意見を伝え、対応してもらっている。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	90%	8%	0%	2%	・会報や行事予定など定期的に受け取っています。	・保護者からの評価についてはホームページや園だよりにて公表している。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	94%	4%	0%	2%	・注意されています。	・
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	71%	16%	0%	12%	・実施されています。	・年に1回園だよりで、知らせているが、契約時等にも周知していくようにする。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	78%	6%	0%	16%	・実施されています。	・月に1回は実施しているが、保護者への周知を年間行事・園だより等で継続して知らせていく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	86%	12%	0%	2%	楽しみに通っており、通園日以外の日も「行きたい」ということがある。 ・幼稚園とあづみ園に行く日を切り替えて、楽しみに通所している。 ・お友だちの関わりが出来るようになり、子ども園に行きたい、ということが増えてきました。	・「行き渋り等」の相談があったときは迅速に対応している。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	96%	4%	0%	0%	・保護者側の希望にも対応して頂き、子どもの困り感にも丁寧に対応して頂いている。 ・子どもの成長を感じる事が出来、とても感謝しています。 ・子どもの成長と一緒に喜んでくださる。	・個々に応じた支援を継続して行っていく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和2年 3月 14日

事業所名 向島あづみ園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75%	25%	・活動によって、使用する部屋を決めている。 ・利用人数によって部屋の振り分けをしている。	・立地条件条件上、難しい。
	② 職員の配置数は適切である	92%	8%	・利用定員に対して、十分な職員数になっている。	・保育士等が休みの時は、専門職によるフォローをしている。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	92%	8%	・必要な場所には視覚支援を行う等、わかりやすいようにしている。	既存の建物を利用しているため、子どもが園庭に飛び出すリスクを排除できていない。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・朝夕に消毒清掃を実施している。	毎日、朝夕清掃を行っている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	92%	8%	・計画や打ち合わせは十分だが、振り返りやみなおしは弱い部分がある。	・当日業務の振り替えが必要。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・評価表、アンケートを見て保護者が何を思っているか把握している。	・前年度の評価を踏まえての取り組みを行う。 ・保護者による評価より出てきた課題は改善を図っている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	92%	8%	HPで公開している。また、園だよりにて保護者に配布している。	・今後も実施していく。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	25%	・統括管理者の評価	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・研修案内を職員に回覧している。 ・フォーラムの実施	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・発達検査、知能検査を実施している。 ・保護者のニーズの聞き取りを行っている。 ・個人懇談・モニタリングを実施し、職員間で話し、作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	92%	8%	・発達検査・知能検査の実施 ・あづみ園独自のアセスメント評価をしている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・発達支援をメイン ・家庭での相談を受け、園で出来る事を支援計画に取り入れるようにしている。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・日々の記録を大切に、支援を振り返っている。	・日々の記録用紙に支援計画を貼り、日々計画がわかるようにしている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	67%	33%	・各クラスの担当が主で組んでいる。	・どういう力をつけたいか、話し合いが必要。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・支援目標に応じた活動設定が出来るように努めている。 ・新しい遊びを調べたり、考えたりして、子どもの課題に合うようにしている。	・他のクラスの活動を共有していく。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・個別活動は専門職が取り組んでおり、集団活動は保育士が指導員が取り組んでいる。双方の視点から支援計画を作成している。	専門職と保育で分担が出来ている。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	25%	・クラス担当が連携を取り、行っている。 ・朝礼でクラスの活動を周知している。	・打ち合わせが当日になったり、事前になってしまうことがあるので、週案を活用し、連携をとるようにしていく。 ・自分からリーダーに聞く姿勢を持つこと ・役割分担の明確さ
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	42%	58%	・園全体の行事は職員間で反省を行ったしている。	・その日に行うことが難しい場合は後日になってしまう。 ・振り返りが不十分なことがある。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・毎日、個人記録を取るようになっており、他の職員も見ることができる。	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・半年に1回行っている。 ・カンファレンスを行い、見直しをしている。	

関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児童発達管理責任者が主に参画している。	
	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・療育の必要性を有する子どもについて連携を取り、見学を受け入れている。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	92%	8%	・カンファレンスや並行先に向いたり、来園してもらい情報を共有している。	
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	92%	8%	・カンファレンスで情報共有を行っている。 ・就学前は保幼小の連携に向くようにしている。	
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%	外部の研修に参加し、職員間で情報共有を図っている。	
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	42%	58%	・毎日利用児は交流の機会がないので、地域のこども園に行事の時に訪問してもらい、発表場面を見学させてもらっている。 ・関わりは少ない	・地域の認定こども園の行事を観覧させてもらうことはあったが、子ども同士の交流は出来ていない。
保護者への説明責任等	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	33%	67%	・管理者が主に参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	92%	8%	個別指導や送迎時、連絡帳等で理解を求めように取り組んでいる。	伝える場はあるが、適切に今の状況を伝えられていない。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	・ペアレントプログラムを実施している。	
	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	92%	8%	・見学時や契約時等に行っている。	
	㉛	児童発達支援が「ライラの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	92%	8%	・計画を作成し、保護者に説明責任を果たし、同意していただけたときは、押印してもらっている。	
	㉜	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・適時行っており、返答に困るときは報告し相談している。	
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		・保護者会が設立していないが、保護者同士の交流をねらいにした活動は行っている。
	㉞	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	92%	8%	・その都度、職員間で共有している。	
	㉟	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・園だより・クラスだよりを月1回は発行し、情報提供をしている。	・広報誌を年に2回発行している。
	㊱	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・個人情報を持ち帰らないようにしている。 ・USBの使用はしていない。 ・顔写真や名前がわかるものは慎重に取り扱っている。	個人が特定されえる物は、目に触れないように保管している。
㊲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・テーマを設けて保護者学習会を行っている。	子どもと保護者にわかりやすい説明を行っている。	
㊳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	67%		・地域の方に来園していただき、読み聞かせやハンドベル演奏をしていただいているが、地域への貢献をしていない。	

非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	マニュアルを作成している。	・マニュアルを作成し、職員間で共有している。 情報は保護者に提供しているが、
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	月に1回行っている。 ・年に1回、消防士さんの助言を頂いている。	
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	入園児に保護者から聞き取りをしている。対応についても職員と共有している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・生玉子・カニ。エビは対応している。また、指示書に基づいておやつ等も配慮している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	50%	50%		事例集はないが、そのような事例に関しては、共通認識はできている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・研修を設けている。	・職員会議・朝礼等で子どもへの声掛けや対応について振り返る機会を設けている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	50%	50%	・現在までに身体拘束を設定した支援を行っていないため、計画に記載していない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。